



第1回登録文化財建造物保存・活用講座

現地視察「豊川市 白井家住宅」

白井家住宅は、旧東海道御油宿の南東 1km のところに位置する造り酒屋の建物です。桁行 8 間梁行 6 間半という規模の大きいツシニ階建て、切妻造、棧瓦葺の平入り町家です。

白井家は江戸末期から酒造を営み、旧国府村の二人庄屋のひとつでした。2005 年 4 月末に酒造蔵と酒蔵が解体され、現在は主屋のみが残されています。2005 年 9 月にものづくり大学白井ゼミの学生と高橋定信棟梁によって屋起こしが行われ、以後、少しずつ復旧修理が行われています。登録当時、正面下屋は瓦葺でしたが、2010 年 3 月に杉皮葺屋根に復旧されています。



今回の現地視察では、東京から復旧工事にこられる時期にあわせて実施し、所有者であり、かつ文化財保存の専門家である白井裕康氏に建物の特徴や魅力、修復の経緯などについてお話していただく予定です。

◆日時 2016 年 7 月 28 日（木）10:00～12:00（受付 9:45～）

◆集合 白井家住宅（豊川市国府町流霞 157）名鉄「国府」駅下車、徒歩 6 分

※裏面に周辺 MAP を掲載しています。駐車場はありませんので、公共交通機関の利用をお願いします。

◆講師：白井裕康氏（ものづくり大学名誉教授）

プロフィール

早稲田大学大学院で、渡辺保忠先生に師事し、建築史を専攻。博士課程を満期退学した後、東京都の文化財保存事業に従事し、8 年間に寺院建築 9 棟、神社建築 4 棟、民家建築 3 棟を修復。この間に博士論文『重塔の設計技術に関する研究』をまとめ、早稲田大学から学位を授与されたのを契機に、1991 年に株式会社白井裕泰空間文化研究所（2005 年株式会社空間文化研究所に社名変更）を設立し、社寺建築の新築および修復の設計活動を開始。1993 年より共栄学園短期大学住居学科助教授。2003 年 4 月より 2016 年 3 月までのものづくり大学教授

◆募集人員 20 名（希望者多数の場合は会員を優先して抽選、締め切り後は先着順）

申込先：FAX 052-935-9592 愛知登文会 行【申込締切：6 月 30 日（木）】

参加申込書				
種 別 （○印を）	正会員	特別会員	賛助会員	その他
お名前 法人会員の場合は企業名も				
連絡先 (E-mail と携帯番号)	E-mail アドレス(抽選に外れた場合の連絡先)		携帯電話番号(当日連絡可能な連絡先)	

※希望者多数で抽選になった場合のみ、抽選に外れた方に連絡。連絡のない場合は現地におこしてください。
※当日の緊急連絡先は、（事務局・石田携帯／090-1756-8965）です。

愛知登文会事務局 一般財団法人名古屋陶磁器会館

〒461-0025 名古屋市東区徳川一丁目 10-3

TEL (052)-935-7841 FAX (052)-935-9592

E-mail info@aichi-tobunkai.org

ホームページ <http://www.aichi-tobunkai.org/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/aichi.tobunkai>

◇主催

愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会

◇助成

文化庁「文化遺産を
活かした地域活性化事業」



下記ホームページに白井家の修復プロジェクトの経緯が紹介されています。
<http://www.iot.ac.jp/building/shirai/shiraike.html>

以下、掲載写真より抜粋



2005年9月
屋起こし（柱を垂直に修正）



2008年9月
東側下屋の撤去



2014年7月
ミセ・オクミセの復原



2014年9月
玄関入口の敷鴨居取付

案内マップ



交通案内

名鉄特急（豊橋行） 名鉄名古屋 9:05 発 → 国府 9:48 着
名鉄特急（名鉄岐阜行） 豊橋 9:23 発 → 国府 9:32 着